

2025 年 12 月 1 日

BYD Auto Japan 株式会社

**BYD Auto Japan、スーパーハイブリッド SUV「BYD SEALION 6」
398.2 万円（消費税込）～で 12 月 1 日（月）より国内販売を開始**

- 国内導入モデル第 5 弾となるスーパーハイブリッド SUV「BYD SEALION 6」の販売を開始
- 前輪駆動（FWD）と四輪駆動（AWD）の 2 グレード展開
- 全国メーカー希望小売価格は FWD が 3,982,000 円（税込）、AWD が 4,488,000 円（税込）
- 日本初導入となる BYD 独自の電気を主役にしたハイブリッド技術「DM-i（デュアル・モード・インテリジェンス）」を搭載
- FWD の航続距離は 1,200km に達するロングレンジ性能、AWD は 0-100km/h 5.9 秒の力強い加速性能（豪州参考値）
- 納車開始は FWD が 2026 年 1 月末、AWD が同年 3 月を予定



BYD Auto Japan 株式会社（本社：神奈川県横浜市、代表取締役社長：東福寺 厚樹、略称：BAJ）は、本日より BYD 独自のハイブリッドシステムであるスーパーハイブリッド「DM-i」を搭載する SUV「BYD SEALION 6（ビーワイディー シーライオン シックス）」を全国の BYD 正規ディーラーで発売します。

「BYD SEALION 6」は、前輪駆動の「BYD SEALION 6」と四輪駆動の「BYD SEALION 6 AWD」の2グレード展開です。全国メーカー希望小売価格は、BYD SEALION 6 が 398.2 万円（税込）、BYD SEALION 6 AWD が 448.8 万円（税込）です。

なお、ジャパンモビリティショー2025 会期中の 11 月 1 日（土）からの先行予約は 11 月末時点で約 300 台です。

「BYD SEALION 6」は、日本市場において初導入となる BYD 独自のスーパーハイブリッド「DM-i」を搭載する PHEV（プラグインハイブリッド EV）で、電気を主役にしたハイブリッド SUV です。

EV の静粛性と滑らかさを基軸にしつつ、長距離走行はもちろん、お客様のあらゆるライフシーンにお応えできます。日常使いではほぼすべて EV として走行し、長距離ではエンジンとの併用により効率の良い走りを実現、お客様に高い安心感と快適性を提供します。日本仕様では FWD（前輪駆動）と AWD（四輪駆動）の 2 グレードを設定。FWD は航続性能を重視し、AWD はスポーツ SUV らしい加速性能（0-100km/h 5.9 秒）を備えます。

■全国メーカー希望小売価格（税込）

モデル	メーカー希望小売価格（税込）
BYD SEALION 6	¥3,982,000
BYD SEALION 6 AWD	¥4,488,000

■ボディカラーと内装色

外装色	内装色	グレード	
		BYD SEALION 6	BYD SEALION 6 AWD
コスモスブラック	ブラウン&ブラック	●	●
ストーングレー		●	●
ハーバークレー		●	●
アークティックホワイト		●	●

■「BYD SEALION 6」製品ページ

URL：<https://byd.co.jp/e-life/cars/sealion6/>

■スーパーハイブリッド特設ページ

URL：<https://byd.co.jp/byd-auto/super-hybrid/>

■DM テクノロジーとは

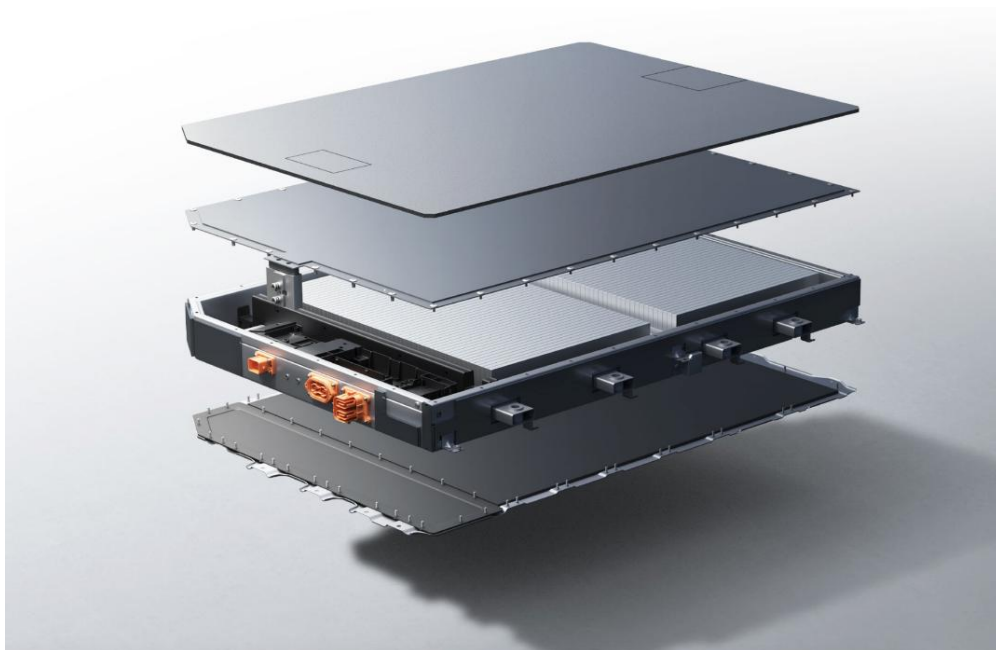
BYD は 20 年以上にわたりハイブリッド技術の研究開発を続け、2008 年には初代 DM を搭載した世界初の量産型プラグインハイブリッド車を発表したパイオニアです。現在では、プラグインハイブリッドシリーズを 90 以上の国と地域で展開し、累計販売台数は 740 万台^{※1}を突破するなど、グローバルで確かな実績を積み重ねています。

「BYD SEALION 6」には、初代 DM を市販して以来、17 年以上にわたって進化を遂げたスーパーハイブリッド技術である DM-i が採用されています。DM-i は世界最高水準の熱効率を誇る 1.5L 高効率エンジン、高出力に対応する DM-i 専用ブレードバッテリー、高効率なエレクトリックハイブリッドシステム（EHS）で構成される「電気走行が主体」のハイブリッドシステムです。

走行の大半をモーターが担うため EV のように静かな走りとスムーズな乗り味を実現し、必要な場面ではエンジンを効率良く作動させることで優れた燃費性能を発揮します。満充電時には 100km^{※2}（FWD の場合）の EV 走行が可能で、日常の移動はほぼ電気のみで完結。長距離走行時にはエンジンによる発電と走行を最適に組み合わせることで、お客様の航続距離の不安を解消し、快適性と効率性を両立した電動パワートレインです。

※1 2025 年 10 月時点（BYD 本社調べ）

※2 国土交通省届出値



■デザイン・ハイライト

「BYD SEALION 6」のデザインは、BYD の海洋シリーズ特有の世界観を SUV に落とし込み、洗練されたスタイルを実現しています。伸びやかな横基調のフロントにシャープで存在感のある Ocean X Face（オーシャン・エックス・フェイス）のデザインを取り入れ、ダイナミックな印象を形成。サイドにはボディ全体を貫く稜線を配し、静かな水面に広がる波の動きを思わせる流麗なプロポーションを生み出しています。リアに備えた一文字のテールライトは、光の演出によって立体感を強調し、先進的な SUV

であることを視覚的に伝えています。19 インチのブラックアルミホイールを装備し、海の色彩をモチーフにしたボディカラーを組み合わせることで、存在感と上質さを併せ持つ外観に仕上げられています。

インテリアは、深みのあるブラック基調の空間に、ブラウンのアクセントとアンビエントライトを配し、海洋シリーズにふさわしいモダンなデザインにまとめました。海をイメージしたフォルムのスポーツシートは身体をしっかりと支えつつ、前席にはヒーターとベンチレーションを備え、長距離でも快適な姿勢を保てる設計です。視線が集まるセンターコンソールには、クリスタルを思わせる電動シフトレバーや2基のワイヤレス充電を配置し、上質感と機能性を両立。2,765mm のホイールベースが確保する後席空間は大人がゆったり座れる広さを持ち、ラゲッジは日常用途から旅行まで幅広く対応できる容量とフラットな床により、使い勝手の良さを追求しています。



■ユーティリティ・ハイライト

BYD SEALION 6 は、利便性と快適性を備え、日常の移動をよりスマートにする装備を多数搭載しています。中央には 15.6 インチの高精細大型ディスプレイを採用し、最新のインフォテインメントシステムと組み合わせることで直感的な操作性と幅広い情報の提供を実現しています。さらに Apple CarPlay®や Android Auto™によるスマートフォン連携も可能です。前席には2台同時接続できるワイヤレス充電や、前後席には USB 端子を配置するなど、毎日の使いやすさに直結する装備を充実させています。また進化したボイスコントロールは全席からの発話を認識して対応します。

PHEVの強みである充電性能は、最大6kWの普通充電と18kWの急速充電に対応。車外への給電（V2L）や家庭への電力供給（V2H）にも対応し、アウトドアや災害時など幅広いシーンで車両を電源として活用できます。

快適装備では、前席にヒーター／ベンチレーションを備えた電動スポーツシート、ステアリングヒーター、遮音性の高いガラス、ワンタッチ開閉式パノラミックサンルーフを採用。ラゲッジは425Lの容量を確保し、後席を倒すことで1,440Lまで拡張でき、フラットな床と大きな荷室開口部により高い実用性を実現しています。日常からレジャーまで、幅広いニーズに応える実用性を備えた SUV です。

■BYD SEALION 6 の主要諸元（抜粋版）

	BYD SEALION 6 (自社調べ)	BYD SEALION 6 AWD (豪州仕様参考値)
駆動方式	FWD	AWD
寸法／重量		
全長 (mm)	4,775	4,775
全幅 (mm)	1,890	1,890
全高 (mm)	1,670	1,670
トレッド前/後 (mm)	1,630/1,630	1,630/1,630
ホイールベース (mm)	2,765	2,765
トランク容量 (L)	425	425
車両重量 (kg)	1,940	2,100
電動機		
パワーバッテリー容量 (kWh)	18.3	18.3
モーター定格出力 前/後 (kW)	60	後日発表
モーター最高出力 前/後 (kW)	145	270
最大トルク 前/後 (N・m)	300	550
エンジン		
エンジン型式	BYD472QA (自然吸気エンジン)	後日発表 (ターボエンジン)
エンジン排気量 (L)	1.498	1.5
エンジン最大出力 (kW / rpm)	72 / 6,000	96
エンジン最大トルク (N・m / rpm)	122 / 4,000-4,500	220
使用燃料	無鉛レギュラーガソリン	無鉛レギュラーガソリン
タンク容量 (L)	60	60
性能 (自社調べ) ※3 ※4 ※5		
最小回転半径 (m)	5.55	後日発表
0～100km/h の加速時間 (秒)	8.5	5.9

EV 走行換算距離（等価 EV レンジ）	100	後日発表
交流電力量消費率 WLTC モード (Wh/km)	153	後日発表
市街地モード (Wh/km)	129.5	後日発表
郊外モード (Wh/km)	138.3	後日発表
高速道路モード (Wh/km)	173.7	後日発表
ハイブリッド燃料消費率 WLTC モード (km/L)	22.4	後日発表
市街地モード (km/L)	26.4	後日発表
郊外モード (km/L)	22.8	後日発表
高速道路モード (km/L)	20.8	後日発表
走行装置		
フロントサスペンション	マクファーソンストラット	後日発表
リアサスペンション	マルチリンク	後日発表
フロントディスク	ベンチレーテッドディスク	後日発表
リアディスク	ソリッドディスク	後日発表
タイヤサイズ	235/50 R19	235/50 R19

※3 検査機関：中華人民共和国の公的機関である CATARC Automotive Test Center (Tianjin) CO.,Ltd.

※4 一充電走行距離および交流電力量消費率は定められた試験条件での値です。お客様の使用環境（気象、渋滞等）や運転方法（急発進、エアコン使用等）に応じて燃料消費率は異なります。

※5 WLTC モードは市街地、郊外、高速道路の各走行モードを平均的な使用時間配分で構成した国際的な走行モードです。市街地モードは信号や渋滞等の影響を受ける比較的低速な走行を想定し、郊外モードは信号や渋滞等の影響をあまり受けない走行を想定、高速道路モードは高速道路等での走行を想定しています。

※本リリースの掲載内容は画像を含め、2025 年 12 月 1 日（月）現在の情報です。内容は変更になる場合がございますので、予めご了承ください。

本件に関するお問い合わせ：

BYD Japan Group お問い合わせフォーム：<https://byd.co.jp/contact/>